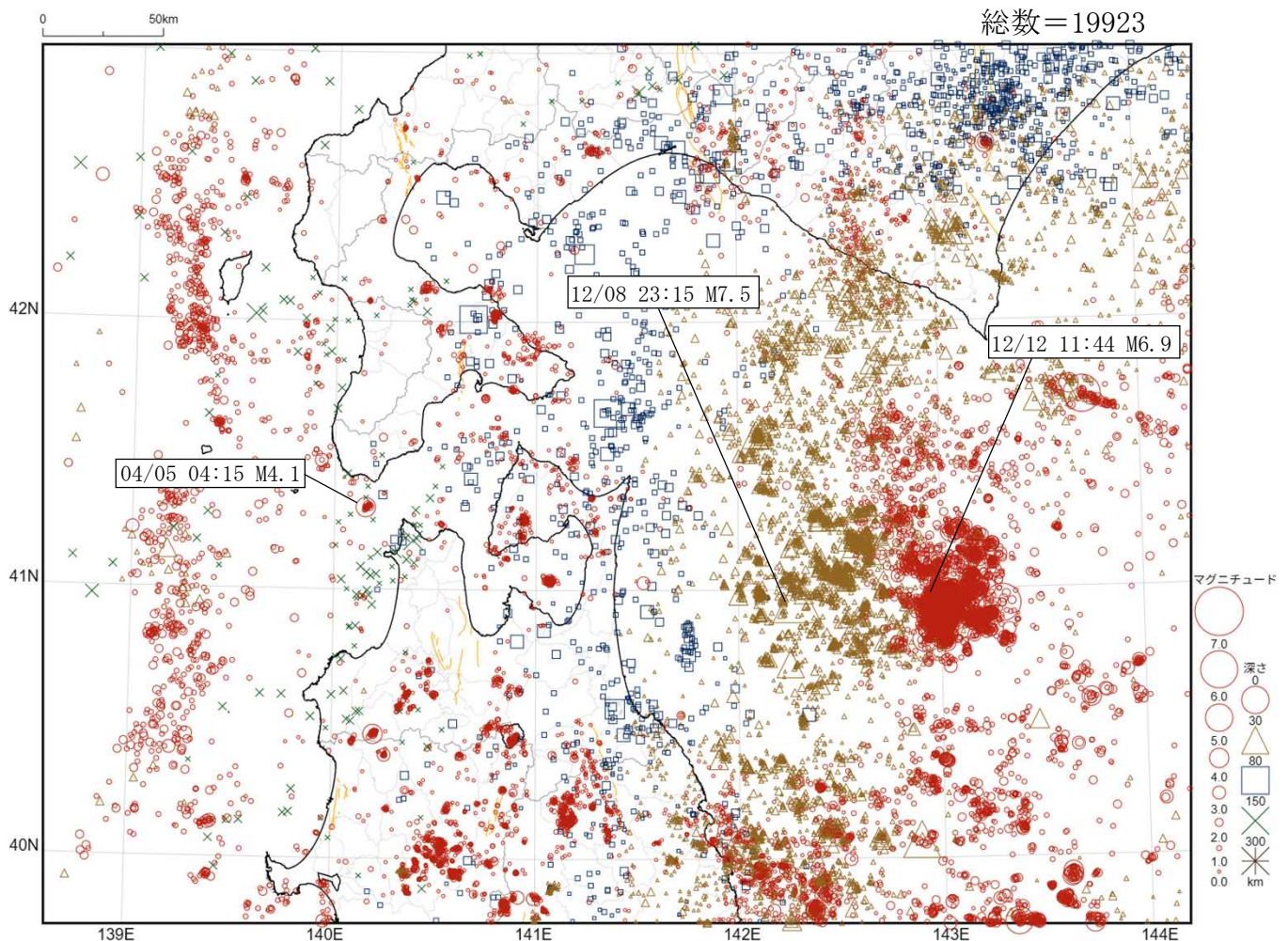


# 渡島・檜山地方の地震活動図

2025年1月～12月

函館地方気象台

## 震央分布図



- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

## 地震概況（2025年1月～12月）

2025年に渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は118回（2024年は45回）でした。このうち震度4以上は3回（2024年はなし）、年間を通して観測された最大の震度は5強でした（「2025年渡島・檜山地方の最大震度別・月別地震回数」を参照）。

7月30日08時24分にロシア、カムチャツカ半島東方沖を震源とする地震（Mw8.8、深さ35km、Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード、震央分布図の範囲外）により、北海道太平洋沿岸西部に津波警報を発表し、函館で42cm（暫定値）の津波を観測しました。また、函館市新浜町で震度1を観測しました。

12月8日23時15分、青森県東方沖の地震（M7.5、深さ54km）により、北海道太平洋沿岸西部に津波注意報を発表し、函館で18cm（暫定値）の津波を観測しました。また、函館市泊町で震度5強、函館市新浜町で震度5弱を観測したほか、渡島・檜山地方で震度4～1を観測しました。

この活動図は、函館地方気象台のホームページに掲載しています。

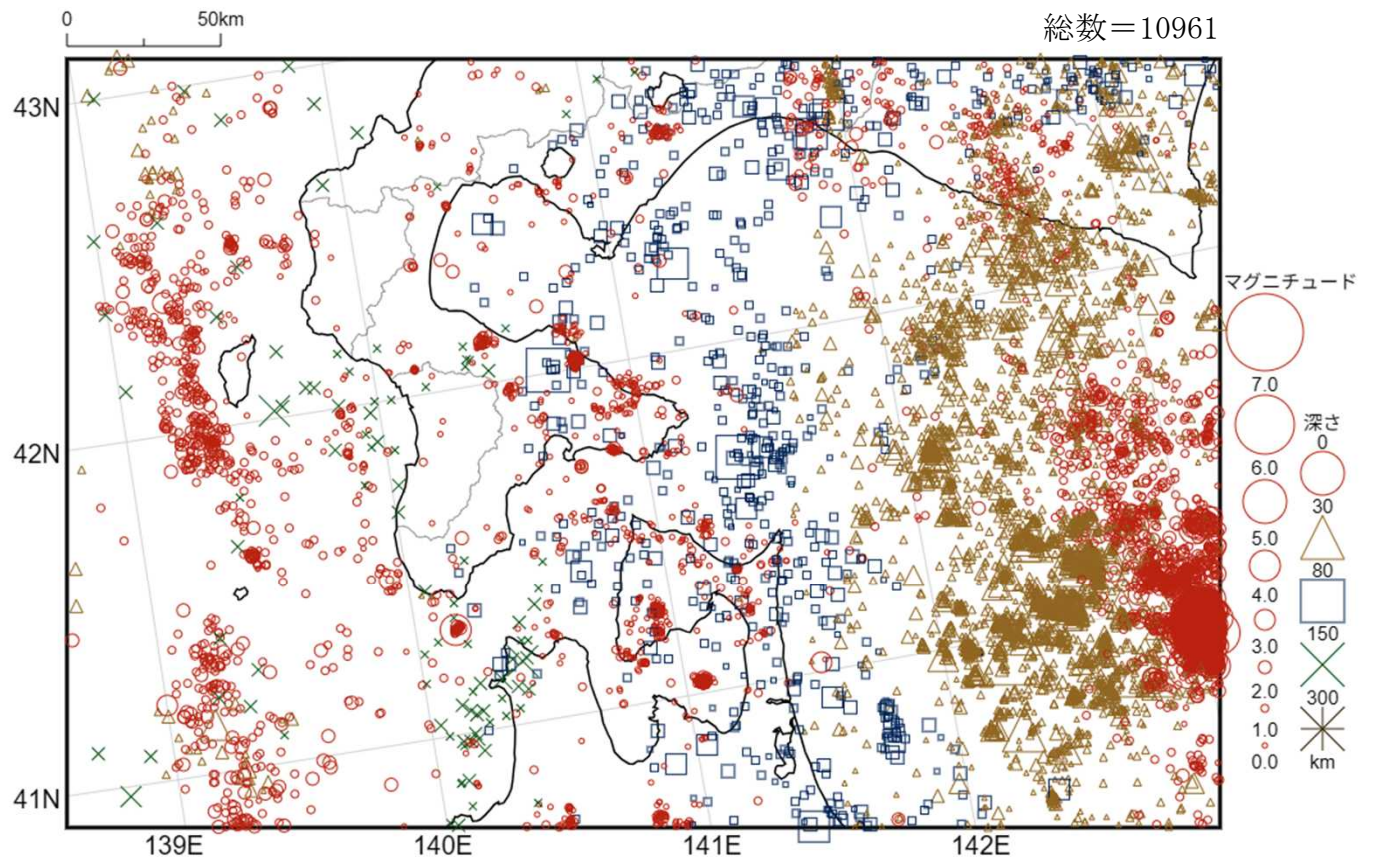
<https://www.data.jma.go.jp/hakodate-c/statistics/earthquake-report.html>

この資料に関する問い合わせ先 函館地方気象台 TEL 0138-46-2211

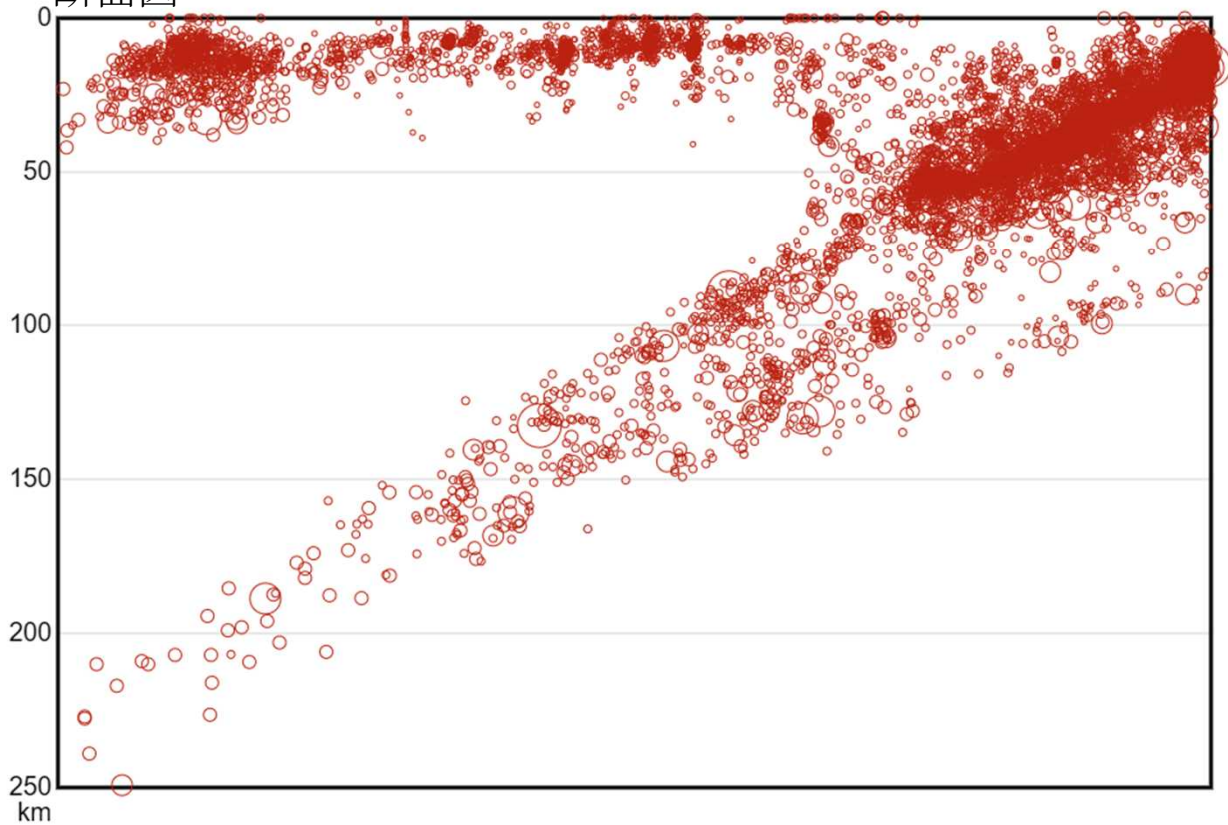


2025年1月～12月

震央分布図



断面図



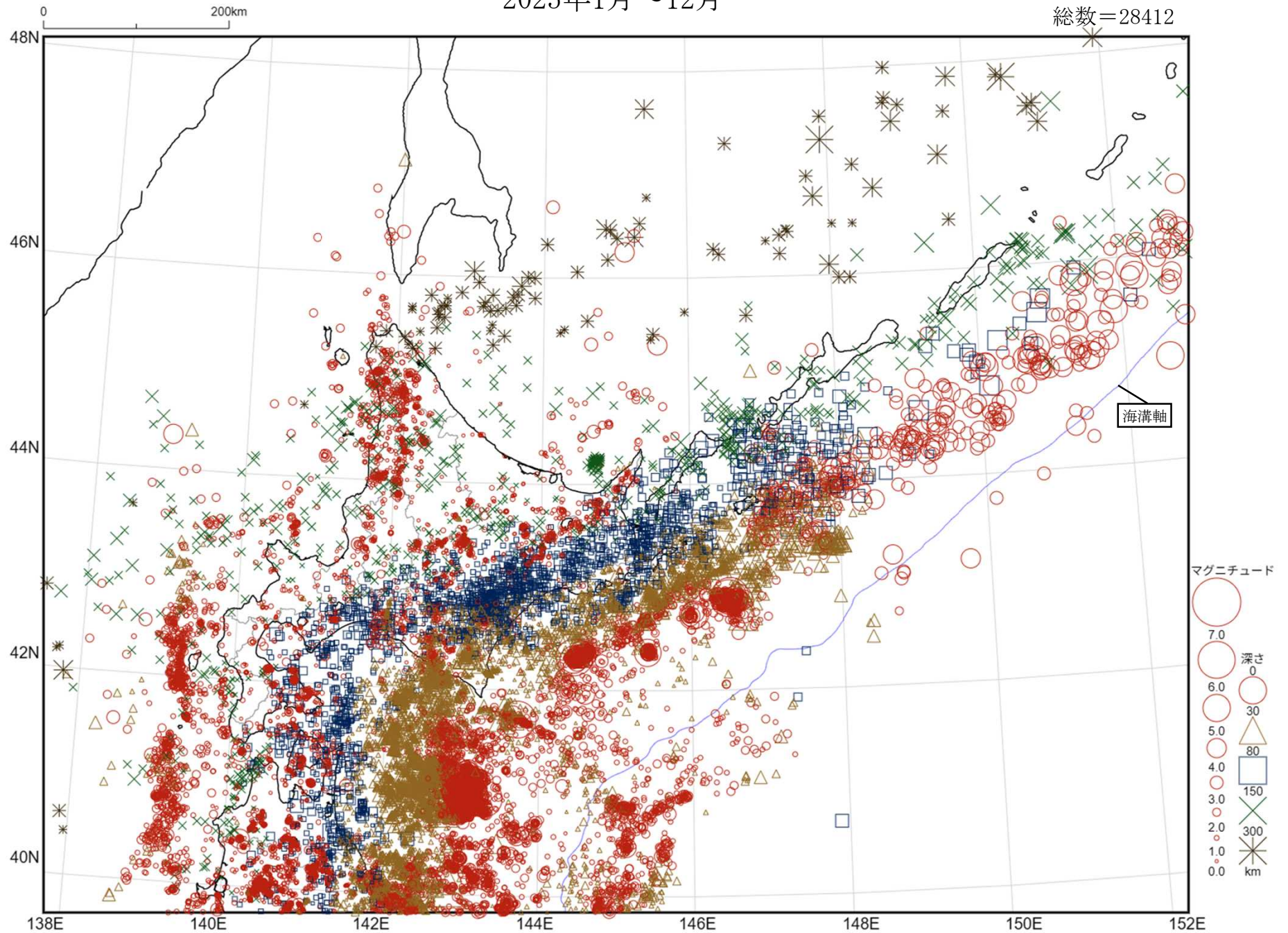


# 北海道の地震活動図

震央分布図

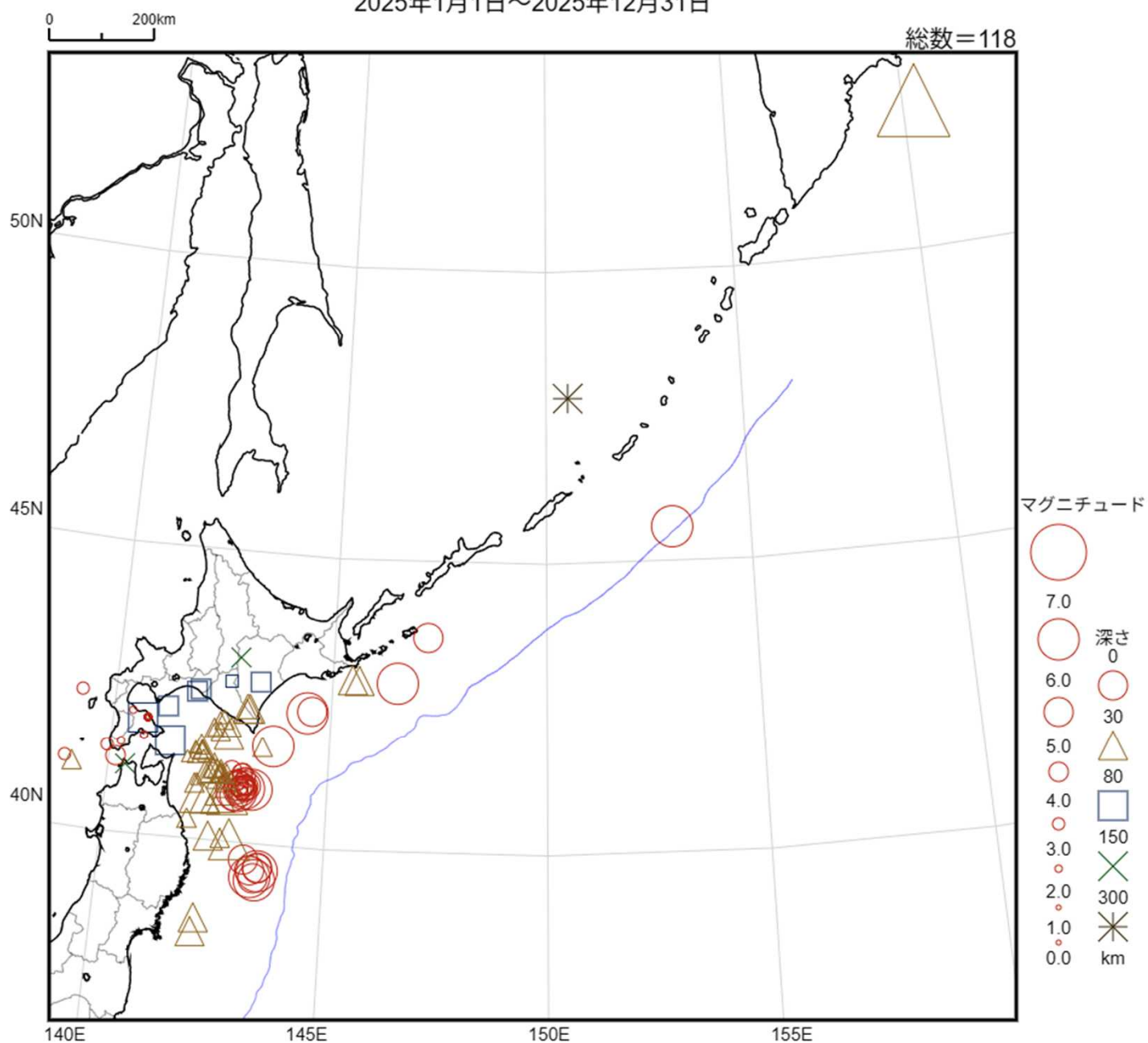
2025年1月～12月

総数=28412



渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震の震央分布図

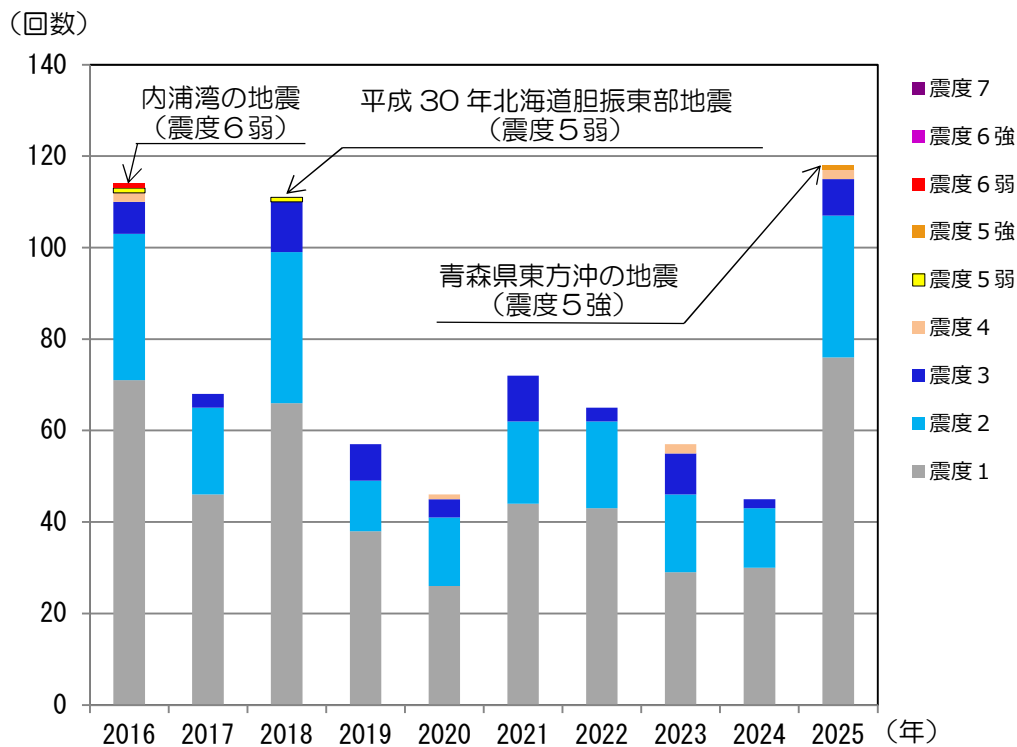
2025年1月1日～2025年12月31日



## 2025 年渡島・檜山地方の最大震度別・月別地震回数

	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	小計
1月	2	1								3
2月	4	2								6
3月	3									3
4月	7	1		1						9
5月	8	4	1							13
6月	5	1								6
7月	3	1								4
8月	4	1								5
9月	8	1								9
10月	7	4								11
11月	5	5								10
12月	20	10	7	1		1				39
合 計 (2024 年)	76 (30)	31 (13)	8 (2)	2 (0)		1 (0)				118 (45)

渡島・檜山地方の震度別地震回数グラフ（2016年～2025年）



## 2025年渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震

函館地方気象台

・\*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。・表中の5+は震度5強、5-は震度5弱を表します。・観測機器の障害等で震度の観測が無い場合があります。

[illegible]

## 2025年渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震

函館地方気象台

・\*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。・表中の5+は震度5強、5-は震度5弱を表します。・観測機器の障害等で震度の観測が無い場合があります。

[illegible]

## 2025年渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震

函館地方気象台

・\*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。・表中の5+は震度5強、5-は震度5弱を表します。・観測機器の障害等で震度の観測が無い場合があります。

[illegible]



## 本資料の利用にあたって

- ・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

## 渡島・檜山地方の震度観測点

